

2020年3月5日

雑誌『広告』リニューアル第2号 3/26 発売のお知らせ —特集は「著作」—

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下博報堂）は、小野直紀編集長による雑誌『広告』リニューアル第2号を3月26日に発売することとなりましたのでお知らせします。

本号では、全体テーマである「いいものをつくる、とは何か？」を思索する第二弾として、「著作」を特集します。

活版印刷の登場とともに生まれた著作権は、印刷物、音声、映像とメディアの発展とともに変化してきました。そしてインターネット登場以降、新たなプラットフォーム、ツールやビジネスモデルが次々と生まれ、作品や作り手、それらを取り巻く環境に大きな変化が起きています。

本号では、いまあらためてオリジナリティや作家性、著作物の保護や利用のあり方など、「著作」についての様々な視点を集めました。全体の企画制作にあたっては、『法のデザイン』などの著書で知られる法律家の水野祐氏に監修を依頼しました。

昨年7月24日に発行したリニューアル創刊号（特集：価値）では、価格1円（税込）という「価値を問いかける」取り組みが大きな反響を呼びました。それから、約8カ月におよぶ構想、制作期間を経てみなさまにお届けする小野編集長体制での第2号、ぜひご期待ください。

発売に先立ち、note『広告』アカウントにて、編集長による巻頭メッセージを公開します。

<https://note.com/kohkoku/n/n05585d8e5e2d>

また、今回も取次を介さずに、全国の書店様との直接取引を行っています。全国の書店様に直接足を運んで販路開拓を行なった様子をまとめた「編集部員の全国書店開拓ノート」をnoteにて公開いたします。

<https://note.kohkoku.jp/m/mb82c02f16c71>

■雑誌『広告』

博報堂が発刊する、1948年に広告文化の創造と発展を目的に創刊された雑誌。2019年にクリエイティブディレクター／プロダクトデザイナーの小野直紀が編集長に就任。「いいものをつくる、とは何か?」を全体テーマに据え、この問いを思索する「視点のカタログ」として生まれ変わりました。

販売：通常全国の書店やセレクトショップ等 *詳細は『広告』ホームページに掲載

発行時期：不定期刊

価格：特集テーマや装丁により変動 *最新号の価格は発売当日にご案内します。

雑誌『広告』ホームページ：<https://www.kohkoku.jp/> /note 公式アカウント：<https://note.kohkoku.jp/>

【編集長 プロフィール】

小野直紀

博報堂 monom 代表／クリエイティブディレクター／プロダクトデザイナー。2008年博報堂に入社後、空間デザイナー、コピーライターを経てプロダクト開発に特化したクリエイティブチーム

「monom (モノム)」を設立。社外では家具や照明、インテリアのデザインを行うデザインスタジオ「YOY (ヨイ)」を主宰。文化庁メディア芸術祭 優秀賞、グッドデザイン賞 グッドデザイン・ベスト100、日本空間デザイン賞 金賞ほか受賞多数。2015年より武蔵野美術大学非常勤講師。2019年より博報堂が発行する雑誌『広告』の編集長を務める。

monom：<http://mono-m.jp> YOY：<http://yoy-idea.jp>

【監修者 プロフィール】

水野祐

法律家。弁護士（シティライツ法律事務所）。Creative Commons Japan 理事。Arts and Law 理事。東京大学大学院・慶應義塾大学 SFC 非常勤講師、リーガルデザイン・ラボ主宰。グッドデザイン賞審査員。著作に『法のデザイン 創造性とイノベーションは法によって加速する』（フィルムアート社）など。

シティライツ法律事務所：<https://citylights.law/>